

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	第1回市有特定建築物耐震化推進計画検討委員会
開 催 日 時	平成 27年12月11日(金) 午前9時30分 開会・午前11時40分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 C棟4階 入札室
進 行 役	市長 田中龍夫 企画部参事(総合政策担当) 鳥山政之
出席委員(者)氏名	市有特定建築物耐震化推進計画検討委員会 委員 木下登 佐藤将之 鈴木充士
欠席委員(者)氏名	佐々木陽一 山岡靖義
説明者の職氏名	企画部参事(総合政策担当) 鳥山政之 企画課主幹 浅見泰志 企画課副主幹 増田暁伸
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 委嘱状交付 3 市長挨拶 4 委員紹介 5 趣旨説明 6 事務局説明 7 意見交換 8 その他 9 閉会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	1 市有特定建築物耐震化推進計画検討委員会 委員名簿 2 市有特定建築物耐震化推進計画検討委員会要綱 3 市有特定建築物耐震化推進計画検討委員会の会議の傍聴等に関する要綱 4 入間市審議会等の会議の公開に関する要綱 5 入間市公共施設(市有特定建築物及び災害対応施設等)の耐震化状況 6 (仮称)市有特定建築物耐震化推進計画 構成案 7 市有特定建築物耐震化推進計画検討委員会 会議構成案
事務局職員職氏名	企画部参事(総合政策担当) 鳥山政之 企画課主幹 浅見泰志 企画課副主幹 増田暁伸
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議事の概要（経過）・決定事項

議事の概要（経過）・決定事項

1～4 略

5 趣旨説明

事務局から、市有特定建築物耐震化推進計画検討委員会の趣旨、会議の進め方について説明した。

また、同委員会要綱に規定する委員長については、事務局案として佐々木陽一氏としたことを伝え、出席委員の了承を得た。

なお、委員長が欠席であるが、この後の会議内容が入間市の公共施設耐震化に係る概要説明が主体となることから、会議の進行は事務局が行うこととして了承を得た。

6 事務局説明

◎ 市有特定建築物耐震化推進計画検討委員会の公開等について

委員会は原則公開とすること及び、市民から公開の要望があった場合、委員氏名のみ名簿を公表することについて委員の了承を得た。

(1) 特定建築物（5施設）の耐震2次診断結果について

事務局から、市内公共施設の耐震化について概要説明を行い、その上で特定建築物（5施設：市役所、市民会館・中央公民館、市民体育館、市民活動センター）の耐震診断結果を報告した。

(2) 入間市特定建築物等耐震化検討PTでの検討結果について

事務局から、庁内組織である「入間市特定建築物等耐震化検討PT」で検討してきた内容を説明した。

- ・5施設のうち市民体育館、市民活動センターについては、比較的小規模な耐震補強工事と改修工事により、施設の長寿命化が図れることから、耐震補強工事で実施することを報告した。なお、両施設は本委員会での検討対象外とする。
- ・市民会館・中央公民館については、耐震補強工事は可能であるが、建物の用途が都市計画による用途地域に適合していないため、現地での建替えができないことを報告した。
- ・市庁舎については、単純な耐震補強工事に合わせて大規模改修を行った場合でも数十億円の費用が見込まれることを報告した。このことから、市庁舎は建替えについても検討したことや、市庁舎がある土地の都市計画による用途地域を勘案して市民会館を併設することについて検討したことを報告した。

(3) (仮称) 市有特定建築物耐震化推進計画の概要

事務局から、(仮称) 市有特定建築物耐震化推進計画の概要について説明した。

(4) 本委員会での論点について

事務局から、本委員会（4回開催予定）における各回の論点について説明し、事務局案に対し追加すべき事項がないか確認した。

《事務局説明に対する意見及び質疑応答》

議事の概要（経過）・決定事項

○委員意見

市庁舎は、建物の機能を良くすることが必要。現在、地下に発電機が設置されているが、蓄電池を設置することも考えた方がよい。現在の施設に新たな機能（設備）を追加するには、建物自体が古く機器の交換は困難が予想される。そのことを考慮すると、建物自体を新しくした方がよい場合もある。

市庁舎を建替える場合、費用もかかるので、人口減少を踏まえ職員数（人件費）も抑えていく必要がある。

市の公共施設はどの施設も老朽化していて、対策には多大な費用がかかるものと理解している。今回検討する施設は、市の中核施設であり、市庁舎はしっかりしたものとする必要がある。また、後世に支障が出ないようにしていかななくてはならないと思う。

○事務局応答

これまで、庁内組織で検討してきた事項について概要を説明したが、詳細は各施設を検討する際に改めて説明したい。

また、冒頭で公共施設マネジメントの説明をしたが、市議会に事務局が報告している内容としては、公共施設の維持には1年間に47億円かかる試算結果が出ている。これを今後1年間で30億円程度に抑えていきたいと考えるが、市庁舎、市民会館の耐震化については、事業費の合計が100億円に達することも考えられる。ただし、規模や整備方法を変えれば、事業費は60～70億円で抑えられることも考えられる。

耐震化の推進に向けては、公共施設マネジメントの考え方（基本方針）に基づいて進めていく必要があると考えるので、こうした部分は最初にご理解いただきたい。

○委員意見

危機管理上の問題として、今すぐに大規模災害が起こった場合、どう対応していくのか。学校は、地域の避難所として機能するだろう。

喫緊の課題として、今起きたらどうするのかを考えながら、運営上の問題も考えていく必要がある。

本委員会では、建替えを前提に考えていくのではなく、様々な選択肢を並べて検討していかなければならないと思う。

日本には、スクラップアンドビルドという文化があるが、オリンピックスタジアムのように、将来的にランニングコストがかかるものを作ってしまったてはならない。

○事務局応答

これまで、庁内組織で検討してきた整備パターン（選択肢）を今後わかりやすく説明したい。

○委員質問

庁舎の裏にある通路状のものは速度標識等がないが、公道（道路）なのか。この通路上

議事の概要（経過）・決定事項

に建物を建てることができるのか。

○事務局応答

「道路」ではなく、「構内通路」（建物敷地の一部）である。ただし、両端が公道とつながっているので、道路と見境なく車両が通過している。従って、市役所の敷地として考えていただいても良い。

○委員質問

耐震化の視点以外で、市として整備が必要な用途（建物）はあるのか。市庁舎と複合化する際の参考にしたい。

また、市庁舎と市民会館の合築プランが示されているが、実はこの他にも必要な施設用途があれば、さらに付加することで、コストメリットがあれば、検討の余地があると思う。

○事務局応答

現時点で、新たに必要用途はなく、今後10年程度のスパンでは想定していない。

ただし、市民会館以外で1,000人収容できる施設は、市内に武蔵野音楽大学の音楽ホールしかないので整備について検討が必要である。この音楽ホールは、大学の施設であり、市民が自由に使えるのものではない。また、産業文化センターに400人収容できるホールがあるが規模は小さい。

多くの市民が集まれるホールについては、近隣自治体と連携して利用するという考え方もある。一例としては、所沢市には立派な音楽ホール（ミュージズ）があるので、この施設を広域利用施設と位置付けて、入間市では建設しないという考え方もある。

一方で、音楽ホールまでのレベルは求めないまでも、集会施設として1,000人収容できる規模の施設が今後のまちづくりの中で必要ないかということについても議論していく必要がある。

○委員意見

これまで膨らます話をしてきたが、逆に縮小させられる可能性も考えられる。例えば、公共施設をコミュニティスクールにしていくという考え方があり、千葉県習志野市の秋津小学校では、校舎を公共的なスペースとしてオープンにしている事例がある。

一つの施設に集約していくことで、コミュニティが強くなるという考え方もあると思う。

○事務局応答

地域コミュニティ施設ということで、学校の複合化（拠点化）というのは、公共施設マネジメントの考え方としてある。地域的なコミュニティをつくっていけば全市的な施設はいらなくなるという考え方もある。この考え方でいけば、芸術・文化に関しては、都心に近いエリアにある上、所沢市には「ミュージズ」があるため、広域で利用していけばこと足りるということも考えられる。これからは、まちづくりの考え方の中で、必要かを判断し

議事の概要（経過）・決定事項

ていくことになる。このことを踏まえて委員の皆さまにはご意見をいただきたい。

公共施設マネジメントの中では、学校施設に複数の用途を入れて地域の拠点化を図ることや、公民館にも同様に複数の用途を入れて地区センター化することも並行して検討している。

○委員意見

「建替え」という選択肢に進むのであれば、建設前に検討した事項は整理しておく必要がある。特に、将来、建替えた施設のコストパフォーマンスが悪くなり、行政に説明を求められることも考えられるので、公共施設マネジメントで検討しているというだけでなく、市庁舎等の耐震化を検討する中で、どうしてこういう施設になったのか、情報開示することを前提に経緯をまとめておく必要がある。

○委員意見

市内で催事を行う場合、産業文化センターのホールは規模（４００名収容）的に使い勝手が良い。一方、市民会館のように１０００人を動員する催事は、客席を満たすために人集めが大変である。イベントを行って成果を出すためには、立ち見が出るくらいの方が良い。従って、産業文化センターのホールは利用率が高いと思う。

今後、市民会館（１，０００人収容規模の施設）を市庁舎に併設して整備するのであれば、人だまり、人の流れを充分考えなくてはならない。

市庁舎は、耐震化しなければならないが、Ａ・Ｂ棟は古い仕様で、多くの方が使いにくいと感じているのではないかと。市民ホールという大空間があり、耐震補強に難しい点が多いと思う。また、市庁舎は、特にトイレの使い勝手が悪い（高齢者等に配慮されていない）ので、改善する必要がある。また、人だまりや人の流れを考慮すると、現在の庁舎の改修で対応できるか不安な要素がある。

市の中核であり「核」となる庁舎を活性化させるには、Ａ・Ｂ棟を建替えるにはどうしたらよいかという点に論点を絞った方が本委員会の検討で方向付けしやすいのではないかと。

○事務局応答

施設に求められる機能は、時間とともに変わっていくものだと捉えている。行政の仕事をしていると、他の自治体の庁舎を訪れることも多いが、多くの庁舎は、事務所としての機能を優先して配置がなされているため、コミュニティスペースとして、トイレやエレベータ等が分かりにくいと感じる。

本市の庁舎も同様で、階段が非常階段のようなものしかなく、市民が集まり利用していく施設として考えられていないのが現状である。こうした高度成長期に建設された施設を更新していくのか、改修により利便性を高めていけるのか、全国の例を見るといずれの事例も存在するので、どちらが良いか方向付けした上で、議論を深めていきたいと考える。

議事の概要（経過）・決定事項

○委員質問

余談ではあるが、学校の耐震化は進んだが、学校のトイレは改修（洋式化）が進んでいるのか。また、学校施設の整備はどのように行っていくのか。

○事務局応答

学校の洋式化率は、約30%である。学校施設は、建物自体の耐震化は終わったもの、天井などの非構造部材の耐震化は未着手であり今後改修を進めていく予定である。一方、エアコンの設置も求められており、現時点ではエアコンの整備を優先して行う方向である。トイレの整備は、児童・生徒からも求められており、重要な課題ではあると認識している。

《論点についての意見交換》

論点については、事務局案を軸に会議を進めていくことで確認した。

○委員意見

公共施設については、市民が足を運びやすいということが重要である。例えば、高齢者団体や青年会議所、商工会などを一堂に会し、その施設へ行けば様々な世代の人と交流ができるという仕組み（スペース）を作ってみてはどうか。こういう施設を市民会館や市庁舎に併設するのも良いと思う。

○事務局応答

市庁舎や市民会館の中に市民の交流スペースが必要ではないかということは論点になる。パブリック部分とプライベートな部分を共存させる必要性については、次回検討する「施設機能」のところで意見交換したい。

○委員意見

市民活動センターは、稼働率が低いようである。この施設は、ニーズがあって設置されたものの、施設内の構成やサービスにおいて、何が求められているか詰め切れていないものがあると感じる。豊岡地区には類似した施設もあるので、勿体ないと感じる部分もある。減築や統廃合という考え方がある中で、施設機能の流用が効く例など情報があれば教えていただきたい。また、統廃合を進める中で各施設が特色を出していく必要があるということを知ったので、情報をいただきながら検討していきたい。

例えば、ホールについては、産業文化センターがあれば、市民会館のホールがなくても済んでしまうことも考えられる。人口は減少するものの、現代のインターネット社会の中で、市の施設に求められるものも変わってくるのではないかと。

インターネットを介することにより、人と人とのつながりが希薄化するといった別の問題はありますが、インターネットの普及により、可能となるサービスを考慮した上で、まちづく

議事の概要（経過）・決定事項

りや施設整備を考えていく必要があると感じる。

7 意見交換

テーマ「長期的な視点から見た市役所、市民会館のあり方について」

○委員意見

公共施設でハコモノとして批判が出るのは、「多目的という名の無目的」というものである。これは、何にでも使えると見せかけて、結局目的があいまいで何にも使えない施設になっているというものである。

施設機能の検討をする上で、どういう方法があるかという方法論も必要であるが、施設の持つ機能を通じてコミュニティを作ることについても議論する必要がある。本委員会では、2名が専門家として入っているので、事例があれば皆さんに紹介をしていきたい。

近年、公共施設を建設する際の考え方として、単独施設として設置する方法から複合施設にする傾向に変わってきている。こうした事例をいくつか知っており、紹介はできると思うので、次回会議以降で示したい。

市民の中には、〇〇大学のようにコミュニティを作って活動している団体もある。こうした団体は、活動場所を求めているケースが多いので、学ぶ場所としてのコンセプトを打ち出せば、目的をもった施設になる。

○事務局応答

本来、市庁舎は事務所として建設した訳であるが、高度成長期に建設した施設であり、多少華やかな部分もあると感じる。一方で、市民に求められる機能を満たしていない部分があるとも感じる。

入間市がどんなまちづくりをしていくのか、また、その中で市庁舎はどんな位置づけなのかを充分検討する必要がある。それが決まれば、施設の方向性も見えてくるのではないかと。

本委員会では、市庁舎と市民会館を対象にしているが、例えば市庁舎に図書館やミニホールなど他の用途も併設した方が良いというご意見があれば、検討の一つにしていきたいと考える。

○委員意見

市庁舎を検討するにあたり、組織（部課）をどのように配置するのかについても、考慮していかなければならないと思う。各部課が今後拡大または縮小するのか事務局から方向性を示して欲しい。

○事務局応答

可能な範囲で示したい。

議事の概要（経過）・決定事項

○委員意見

公共施設の配置については、市民が施設へ出向くことを前提にするだけでなく、インターネットが普及している今日では、インターネットを使って業務や組織の効率化を図ることもできると考える。

また、今後、市民会館の検討をするうえで、稼働率について情報があればお示しいただきたい。

○事務局応答

稼働率については、公共施設マネジメント白書にも記載しているので、ご覧いただきたい。

8 その他

(1) 委員会スケジュールについて

今後の日程について確認した。なお、第2回委員会は市民会館を会場として行う。

第2回会議：1月14日（木）午前9時30分

第3回会議：2月 3日（水）午後2時00分

第4回会議：3月16日（水）午前9時30分

(2) 事務連絡

なし

9 閉会